

株式会社ラック

プラットフォーム脆弱性診断ハンズオンコース

実施機関名	株式会社ラック		
講習名	プラットフォーム脆弱性診断ハンズオンコース		
特定講習番号	21-005-013		
講習形態	リモート形式又は集合形式	定員（1回あたり）	20名
受講日数	1日間	受講時間	6.5時間
受講料	165,000（円/税込み）		
対象分野 ＜ITSS+（セキュリティ領域）＞	主な分野 脆弱性診断・ペネトレーションテスト	関連分野	セキュリティ統括 セキュリティ監視・運用 セキュリティ調査分析・研究開発
講習内容	プラットフォーム診断に必要な知識及び手法を習得することを目的にしています。 単に知識を習得するだけでなく、診断を実施するために必要な前提及び周辺知識やスキルについても学習します。また、実際に演習環境でいろいろな脆弱性に対する診断実技を行い、また、実務として重要となる報告書作成についても演習を行いスキル習得、診断に関する理解を深めていきます。		
具体的な到達目標	・各種脆弱性の原理・対策・診断手法を理解する ・診断を内製化する場合のポイントを理解する ・外部の診断ベンダーを選定するポイントを理解する ・外部の診断ベンダーの報告書の内容が理解できること		
修得できるスキル	・個別のツールに依存しないプラットフォーム診断技術全般の基本スキル ・脆弱性診断技術スキル及び業務としての幅広い対応スキル ・診断結果をもとに運用対策などの立案スキル		
講習の理解・習得のために推奨される実務経験	IT技術全般（インフラ系・開発系）、情報システム・セキュリティ推進部門担当者、SOC（セキュリティ運用）要員、CSIRT要員（技術系）、システム系監査担当		
講習の理解・習得のために推奨される知識・技術	・ネットワークの基礎知識（TCP/IP、OSI参照モデルなど） ・Webアプリケーションの基礎知識（Webサーバ、Webアプリケーションなど） ・Linuxの基本的な知識とコマンドを利用した操作 ・Windowsの基本的な知識とコマンドを利用した操作		
技術・知識の到達度の把握・測定方法	・実機による実習状況 ・総合演習の実行状況及び結果 * 上記を総合的に講師が判断		
修了認定の判断基準	100%の出席率に加え、講師が総合的に評価を行った上で修了判定を行います。 判断基準については、実機利用の演習等は「一人で完了できている」～「多少のサポートで完了」～「研修時間内にまったく出来ない」が目安。また、実機演習も含め研修全体を通して講師からの質問への対応、質問の状況など講師と補助講師が随時チェックして最終的に相対評価とします。		
修了認定基準に満たない受講者への措置	新規に申込してもらい再度受講してもらう措置となります。		
受講者に対するサポート体制	講義内各段階において懸念のある受講者に対し、講師と補助講師で適時認識合わせを実施します。その上で補助講師が個別にサポートを手厚くしていきます。また、研修終了後の学習方法などもアドバイスしていきます。		
講習実施施設所在地	東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー 株式会社ラック本社		
ホームページ	https://www.lac.co.jp/service/education/pentest_pf_1day.html		